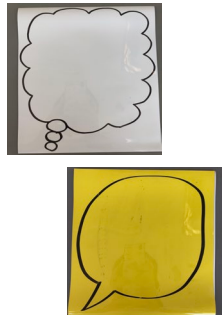
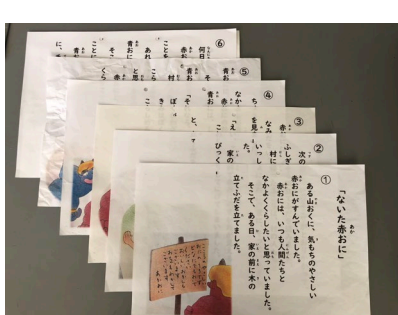
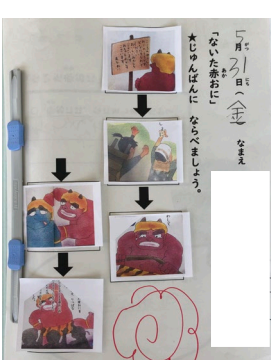


簡単な文や文章を読み、情景や場面の様子、登場人物の心情などを想像することの指導 ～場面ごと読み教材を使った事例～			
学部・教科	中学部・国語科	事例コード	2 2 1 3
学習グループの実態	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中学部1学年（6名）</li> <li>・ 言葉での簡単なやりとりをすることができ、教師の指示を受けて行動したり、簡単な質問に言葉で答えたりすることができる。</li> <li>・ 語彙が少なく「何」や「どんな」といった質問については分からないと答えることが多い。</li> </ul>		
単元(題材)名	『ないた赤おに～気持ちを考えよう～』		
学習指導要領の内容	国語科／中学部1段階 [知識及び技能] イ (ア) [思考力、判断力、表現力等] C 読むことーア、イ		
単元(題材)の目標	知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間性等
	事柄の順序など、情報と情報との関係について理解することができる。 【〔知〕イ(ア)】	簡単な文や文章を読み、情景や場面の様子、登場人物の心情などを想像することができる。【〔思〕Cア】 語や語句の意味を基に時間的な順序や事柄の順序など内容の大体を捉えることができる。【〔思〕Cイ】	言葉がもつよさを感じるとともに、図書に親しみ、国語を国語で考えたり伝え合ったりしようとする。【中学部1段階目標ウ】
単元(題材)の計画	総時数 10時間 1. 赤おにってどんなおに？（1場面） 2. 村人と赤おにのきもちをかんがえよう（2・3場面） 3. 青おにってどんなおに？（4・5場面） 4. 赤おにのきもちをかんがえよう（6場面） 5. 場面を振り返って並べよう（まとめ）		
		..... 2時間	..... 2時間
指導の実際	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 悲しい、悔しい、うれしいなどの簡単な気持ちを考える題材を取り上げ、登場人物の気持ちを考えることに取り組んだ。</li> <li>・ 教材は、国語☆☆☆☆（平成23年版）「ないた赤おに」をもとに場面（①～⑥）に区切ったものを用意し、どの場面を読んでいるかが分かるようにした。</li> <li>・ 場面ごとの様子をイメージしやすいように挿絵を提示しながら、その様子や表情から感情を考えるようにした。</li> <li>・ 板書する際は、挿絵や登場人物、その場面のキーワードの単語を順番に並べて書くことで話の流れを理解し、自分で挿絵を並べ替えて話の流れを理解することができるようになった。</li> </ul>		
	 <p>吹き出しの掲示</p>	 <p>場面ごとにした読み教材</p>	 <p>プリント (場面の順番)</p>